

労働力調査の結果を見る際のポイント No. 10

職業でみる就業者

～雇用環境の現状を幅広くみるために その3～

労働力調査では就業者について、勤め先事業所の事業内容を分類した「産業」別の動向を中心に公表しています。しかし、雇用環境の現状を幅広くみるためには、本人の仕事内容について分類した「職業」別の動向を併せてみることも重要です。

「産業」と「職業」の分類については、以下のとおりです。

- 産業 … 就業者が実際に仕事をしていた勤め先・業主の主な事業の種類（生産されるモノ又は提供されるサービスの種類などに着目して区分）のことで、事業所を単位としています。
- 職業 … 就業者が実際にしていた仕事の種類のことで、個人を単位としています。

例えば、製造業の事業所に勤めている就業者についてみると、工場で製品の組立ての仕事をしている者もいれば、事務所で経理事務の仕事をしている者もいるように、同一の事業所内にも様々な職業が存在しています。

この例の場合、同じ「製造業」という産業に分類される就業者でも、職業分類によれば前者は「生産工程・労務作業員」、後者は「事務従事者」となります。

＜職業別就業者数の推移＞

- 就業者数は、前年同月と比べた減少幅が平成 21 年 4 月に 100 万人を超え、その後も拡大しています。これを職業分類別にみると、平成 21 年 6 月では就業者数全体の減少幅の 8 割以上を「生産工程・労務作業員」が占めています。また、「生産工程・労務作業員」の減少幅は平成 20 年 12 月以降、拡大を続けています。
- 一方、高い専門性や技術などを必要とする「専門的・技術的職業従事者」は、平成 21 年 1 月以降、前年同月に比べ 6 か月連続して増加しています。
- なお、減少幅の拡大が続いている「生産工程・労務作業員」について産業別に構成比をみると、「製造業」、「建設業」及び「サービス業」の三つの産業で、全体の 7 割以上を占めています。

表 職業別就業者数の推移

(万人)

年 月	総数	専門的・技術的職業従事者	管理的職業従事者	事務従事者	販売従事者	保安職業サービス職業従事者	農林漁業作業員	運輸・通信従事者	生産工程・労務作業員	
		平成20年 7月	6406	917	167	1301	870	796	286	203
8月	6405	937	167	1275	865	793	278	206	1821	
9月	6393	953	178	1284	865	802	271	199	1772	
10月	6388	957	177	1294	854	797	266	196	1781	
11月	6391	948	170	1311	857	797	251	194	1792	
12月	6331	945	166	1314	865	801	234	188	1756	
平成21年 1月	6292	962	167	1308	884	785	217	197	1712	
2月	6265	968	168	1306	856	780	225	210	1690	
3月	6245	952	173	1289	852	773	258	213	1677	
4月	6322	978	181	1274	860	797	275	206	1693	
5月	6342	985	173	1274	879	821	280	196	1677	
6月	6300	953	173	1308	884	816	271	197	1642	
対前年同月増減	平成20年 7月	-52	6	1	37	-14	2	-23	-11	-43
	8月	-41	7	-9	23	-11	-12	-17	4	-21
	9月	-29	7	-4	48	-10	15	-13	-9	-62
	10月	-36	-1	-1	36	-20	20	-16	-11	-44
	11月	-42	-16	2	30	-26	10	-12	-5	-29
	12月	-65	-17	-4	43	-25	24	-2	-13	-69
	平成21年 1月	-29	4	-10	31	9	22	-2	-5	-70
	2月	-27	27	-7	26	-19	8	3	9	-71
	3月	-91	8	5	8	-27	-7	11	10	-80
	4月	-107	13	6	-10	-19	17	-13	2	-86
	5月	-136	7	0	-14	3	31	-27	-1	-120
	6月	-151	2	2	-8	3	19	-28	5	-128

注) 総数には「分類不能の職業」を含む。

※ 職業の分類内容については、<http://www.stat.go.jp/data/roudou/pdf/shoku.pdf> を参照してください。